

## 編集後記

本号が皆さんのお手元に届く頃には全国的に梅雨明けしているでしょうか。この編集後記を執筆している6月末時点での長期予報では、今年の梅雨は平年よりも日照時間が短く曇りや雨の日が多いとのこと。梅雨明け後は、気持ちの良い晴天を満喫しているか、暑すぎる毎日にうんざりしていることと思います。大学では、夏休みに入るこの時期は研究に集中できる良い季節だと思っていたのですが、最近では公開実験や研究会が多くなり、ちょっと様子が変わってきたように思います。

さて、編集委員も2年目に入り、残す任期はあと1年となりました。編集委員の依頼があったときは、学会事務局のある東海地方に住むプラズマ研究者が納める税金のようなものだと思いますが、1年経った今では、意外にも月に1度の編集委員会を楽しみに参加しています。編集委員会が通常の会議と異なるのは、提案記事に関

する学問的な討論に多くの時間を割き、ミニ研究会のような雰囲気があるためだと思います。編集委員会では、プラズマ物理、磁場閉じ込め、慣性閉じ込め、炉工学そしてプラズマ応用といった分野ごとに記事提案を行うグループを設けており、毎月各グループからの提案を審議します。私はプラズマ応用関連の研究室に所属しているため、最近ではプラズマ・核融合学会から足が遠のいてしまっていますが、編集委員会での記事提案の議論を通して、核融合およびプラズマ物理分野の最近の話題を、その分野の専門家の解説を交えて知ることができ、大変勉強になります。また、議論が発散しかけた時の編集委員長の鋭い一言も毎回の密かな楽しみの一つでもあります。編集委員会では、非常に大きな広がりを持つプラズマ研究のさまざまな分野の研究者から話しを聞く機会があり、特に若手研究者には得るものが多いと思います。機会があれば是非参加してみたいかがでしょうか。(荒巻光利)

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	藤原 正巳 松田慎三郎	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 尾崎 章 (財務委員長) 佐野 史道 畑山 明聖 森 雅博 (広報委員長)		今井 剛 際本 泰士 (広告委員長) 田中 和夫 (編集委員長) 浜口 智志 (出版委員長) 吉田 善章		奥野 健二 (プログラム委員長) 佐藤浩之助 (企画委員長) 畠山 力三 本島 修
監 事	長谷川 満		藤山 寛		

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田中和夫 (阪大)  
 エディター 関子秀樹(九大), 関 昌弘(RIST), 田中雅慶(九大), 福山 淳(京大), 村上匡且(阪大), 行村 建(同志社大)  
 編集委員 荒巻光利(名大院工), 飯塚 哲(東北大院工), 石黒静児(核融合研) 岩尾 徹(武蔵工大), 岩切宏友(九大応力研), 上田良夫(阪大院工), 越智義浩(原子力機構), 片沼伊佐夫(筑波大プラズマ), 門 信一郎(東大高温プラズマ), 加藤太治(核融合研), 北島純男(東北大院工), 北野勝久(阪大院工), 小口治久(産総研), 佐伯紘一(静大理), 重森啓介(阪大レーザー研), 洲 亘(原子力機構), 妹尾和威(核融合研), 高橋栄一(産総研), 高山有道(核融合研), 谷口和成(京都教育大), 永岡賢一(核融合研), 長崎百伸(京大エネ理研), 野崎智洋(東工大院), 平松美根男(名城大理工), 増崎 貴(核融合研), 山内有二(北大院工), 山本 巧(原子力機構)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛てご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第82巻第7号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3185

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

印 刷 株式会社荒川印刷

2006年(平成18年)7月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。